

令和6年度 中濃特別支援学校

全校研究会開催

9月19日に全校研究会を開催しました。今年度は、『個々の力を存分に発揮する自立活動の授業づくり～実態把握を根拠として～』という主題研究テーマを掲げ、全校で取り組んでいます。

今年度の研究は、昨年度同様「自立活動」を研究の柱とし、3カ年計画の2年目「本研究」の年と位置付け、自立活動の授業の充実や自立活動の視点を取り入れた各教科等の授業実践に力を入れています。

6月には新潟大学の村中智彦教授から「自立活動の授業づくり～教育活動全体と密接に関連させた実践を学ぶ～」のテーマで講演をいただきました。それを受け、各研究グループに分かれて、児童生徒の強みや得意なこと、また、学習上又は生活上における児童生徒の困難さとは何かということを導き出し、授業づくりに反映させています。

研究会当日は、大垣女子短期大学准教授の垣添忠厚先生、特別支援教育課から2名の先生をお招きして、午前中に自立活動と国語科の公開授業を行いました。午後からは、公開授業のVTR視聴、各部研究会、全体会という流れで実施しました。各自希望した部において、「授業づくり・改善シート」を基に、授業を評価し、次回につながる改善点や協議テーマについてグループに分かれて討議し、全校で交流しました。

全校研究会を終え、児童生徒が主体的に取り組む姿を引き出すには、得意なことや好きなことを取り入れ、教師の支援は最低限にして、児童生徒が自分で動いたり表現したりするための環境的・物的な支援が大切だと再確認できました。今後も研修や研究に邁進していきたいと思えます。

全校研究会の様子



< 小学部の様子 >

公開授業のVTR視聴後、各組でグループに分かれ、討議を行いました。どの組も活発に意見交換がなされました。研究会後半には、外部講師からの指導・助言をいただき、10月からの校内での公開授業に生かしていきたいと思えます。



< 高等部の様子 >



< 中学部の様子 >